

# 令和4年度 学校関係者評価報告書

学校法人東京吉田学園 久留米神明幼稚園

## 1、本園の教育目標

「健康で心楽しく明るい幼稚園」を建学の精神とし、「豊かな情操や自立心、社会性を育成する。」を教育の目標として、日々の保育に取り組む。

本園の教育方針

- 1、健康で安全な楽しい生活をさせる。
- 2、自由な遊びの中に責任を持たせ、子供なりに自立心を育てる。
- 3、社会交遊性をのばし、豊かな情操を養う。
- 4、自分の気持ちを言葉で表現し、伝え合う喜びを育てる。
- 5、豊かな文化、表現への芽生えを伸ばす。

## 2、本年度に定めた重点的に取り組む目標や計画

具体的な目標や計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

本年度も園児、御父母、職員の安全確保を最優先とした取り組みを重点的に実施する。感染対策に配慮しつつ、保育参観や屋外行事（川遊び・園外保育・どんぐり拾い・市内見学・大根抜き等）を計画実施

## 3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
教育要領、教育課程、子供の実態等を基に考えて作成している。	毎年指導計画に加筆、訂正を行い、子供の実態に即した内容にするように努めている。
定期的に各クラスの成果と課題を報告する。	各クラスで月や週の目標を定め、毎月毎に達成状況を報告し合うようにしている。
保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応をはかる。	保護者との個人面談は実施、年度初めの懇談会を実施、その為、個別に意見を頂き出された意見に対して、必要なものについては園の考え方を示し、改善すべきものは改善するように取り組んでいる。

## 4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

教職員が学校評価の主旨を理解し、各自適切に自己点検、自己評価に取り組んでいる様子が見られた。今後も客観的な目で自らの教育、保育を振り返り、さらに充実し実践ができるように努力を積み重ねて欲しい。日々のコロナ感染症予防を実施しつつ、行事の再開の為に創意工夫を重ね規模は小さいながらも実施したことは評価に値する。

## 5、今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	安全管理	園児の心身の安全と健康の確保や地震などの災害に備えて、危機意識の向上を図る。ダブルチェック等を基本とした対策安全を考慮した人員配置
2	地域との連携強化	地域に愛される園を目指して、地域との連携に一層努める。
3	教職員間の協力	学年に関係なく他学年の指導計画も把握し、協力体制を強化する。

## 6、学校関係者の評価

コロナ過の中、感染予防対策を留意実践しつつ教職員の熱心な指導のもと、園児がのびのびと自分を出せる環境作りに保護者の協力や理解を得るなど苦慮がうかがえたが、幼稚園の教育方針のもと一人ひとりを大切にされた保育がなされ、子供を中心に置いた園づくりがされている様子は大変好ましい。今後もより一層、安全に留意して保育の質を高めていってほしい。

学校関係者評価委員

久永高士



学校関係者評価委員

榎本浩



学校関係者評価委員

山本仁



委員確認日

令和 5年 3月 31日